

「BELIEVE」

BELIEVE

2016
新年号
VOL.55

」

特集 『ロジスティクスセンター』をのぞいてみよう!



Momoca 「雪の日」 ・制作年/不詳 ・素材/水性顔料、紙 〈エイブルアート・カンパニー所属 URL:<http://www.ableartcom.jp>〉

シリーズ **情熱の白衣 医師の素顔** ⑤ 整形外科部長 **坂本 武志**

- 食だより〈運動とエネルギー〉／お薬ミニ知識〈ガラパゴスな日本の薬?!〉
- がんサポートチームからのお知らせ／しっかり手洗い、感染予防! ● あらためて「赤十字」って何でしょう?／登録医紹介

大阪赤十字病院の理念

わたしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



「ロジスティクスセンター」をのぞいてみよう!



▲ロジスティクスセンター入口

『びり〜ぶ』では毎回、大阪赤十字病院の診療活動をさまざまな角度から紹介していますが、今回はいつもと違った当院の一面を紹介したいと思います。

当院正門から道路を挟んで向かい側に位置する大きな倉庫、「ロジスティクスセンター」。これは、災害救護専用の倉庫で、日本赤十字社の大きな事業の1つである救援活動には不可欠な存在です。災害時に救護を行うためにはさまざまな物資が必要となります。このロジスティクスセンターでは国内外の災害時、すぐに医師や看護師を被災地に派遣できるよう、救護に必要な資機材を備蓄、管理しています。大阪が被災した場合にもこの資機材を使用します。

倉庫内には何があるのか、またその物資がどのように活用されるのか…。今回は、普段見ることのできない倉庫の中をレポートします。



▲ロジスティクスセンター内

report 1

緊急車両

ロジスティクスセンターには災害救援専用のトラック2台、マイクロバス型緊急車両が1台あります。そのうち、dERU車両には医療救護所を作るために必要な大型テント、医薬品や衛生材料、ストレッチャー、事務用品など一式が詰め込まれており、いつでも出動できる体制になっています。



▲緊急車両

report 2

ロジスティクスセンター用発電機

大阪が災害で被災し停電になった場合にも対応できるよう、ロジスティクスセンターの電源は発電機からでも取れるようになっています。



▲発電機

report 3

傷メイクセット

災害訓練や研修などで負傷者役の人に付け、リアリティーを出すために使います。



▲傷メイクセット



▲非常食



▲メニューはいろいろあります

report 4

非常食、非常用飲料水

大阪が大規模災害に見舞われた場合、職員は自宅に帰宅することなく病院に寝泊りし、負傷者の救護に全力を尽くします。こうした職員のため、簡単に温めて食事をとることができる非常食や飲料水を備蓄しています。

report 5

救護バッグ、助産セット

キャリーバッグのように引くことができ、背負うこともできる救護用のバッグです。発災からの時間によって超急性期、急性期の2種類のセットがあります。また、災害時の分娩用に助産セットもあります。



▼救護バッグ



▼助産セット

▲東日本大震災の避難所にて、救護バッグで医療資材をまとめて運ぶことができます



▲東日本大震災第2班のブリーフィング(簡単な報告)の様子。多数のメディアに囲まれている

report 10

ミーティングスペース

派遣前の説明や打合せに使用するスペースです。チーム内の役割や被災地状況、道路情報などを確認します。

report 11

無線機、衛星電話

災害時には既存の電話網が使えなくなることがあるため、無線機や衛星電話などをいつでも使えるように常に充電しています。



▼無線機、衛星電話

report 12

国際派遣用スーツケース

国外での災害発生のお知らせを聞いてすぐに派遣に出られるよう、派遣に必要な日用品類を詰めたスーツケースを用意しています。派遣先は日本とは季節が逆の場合もあるため、夏でも使い捨てカイロ、冬でも虫よけスプレーなどを用意しています。



▲派遣用スーツケースの中身



▲東日本大震災時には宮城県庁前でdERUを設営



▲ホスピタルタイプのdERUを展開した様子

▼dERU



report 6

dERU

dERU(ディー・イー・アールユー)とは「国内型緊急対応ユニット」の略で、災害に即応できる車両、診療所設備および訓練された要員、それらを運用するためのシステムを総称したものです。大阪赤十字病院では日本で唯一、入院にも対応できる病院型のホスピタルdERUを保有しています。



▲dERUの中には診療設備が入っています

report 7

蓄電池、ソーラーパネル

ライフラインの途絶えた被災地でも自己完結で活動できるよう、燃料がなくても使えるソーラーパネルや蓄電池を保管しています。



▲蓄電池



▲ソーラーパネル

report 8

ロッカー、救護服

その年の救護員に任命されている職員にはロッカーが与えられ、出動要請があれば自宅に帰ることなく、この場で救護服に着替え、すぐに出勤できる体制を整えています。救護員は毎年約110人が任命されています。



▲ロッカーで着替え中

Information

救援活動についてさらに知りたい! という方は、ぜひご覧ください。



▲パンフレット設置場所/各階リーフレットラック



▶ホスター掲示場所/4階国際医療救護部前

▼個人用テント折りたたみ時



report 9

寝袋、個人用テント

特に発災直後には、被災地で宿泊場所が確保できない場合があります。そのようなときのために、個人用テントや寝袋を保管しています。

坂本 武志

整形外科部長



個性を活かして、やりがいを持って治療にあたる。誰もに喜んでもらえる環境をつくっていききたい。

早い手術で良い結果を出す。想像通りにいくとうれしい。

机の上でコツコツと仕事をするのは性格的に合わない。だから外科系、その中でも脳外科に進もうと決めて廻った、実習中に出会った整形外科の病棟でのこと。「その病棟の患者さんたちは、みんな前向きで明るかった。笑顔が絶えない現場を見て、『いいな』と感じて」、坂本医師は整形外科医に決めたという。

たとえば神経痛の原因である背骨を治療すれば良くなる。そんな明快な医療が行われる中で、坂本医師が、ひそかにやりがいを感じているのは、「自分の手を動かして結果を出せる手術」という。「患者さんに喜んでもらえるだろう」と理論的に考え、イメージした手術が予定通りにいったときは、『よっしゃ』と思えますね。時間通り、予定通りにでき

TAKESHI SAKAMOTO

2月15日、京都府生まれ。平成3年に京都大学医学部卒業。同大学医学部附属病院に整形外科研修医として勤務の後、田附興風会北野病院、日本赤十字社和歌山医療センターなど、多数の病院で活躍。平成16年に当院に赴任し、平成27年に整形外科部長に就任した。

「謙虚、貪欲、明朗、誠実」。坂本医師の座右の銘は、中学時代に通った学習塾が掲げていたモットーだそう。「上級生が後輩指導を毎日行い、密接な先輩後輩の人間関係を築き、学力三分、人間七分の大切

学習塾で過ごした日々が、医師になるきっかけに。

たことで、『早くて結果の良い手術ができる医師』と思ってもらえたら、外科医として本望ですね。」これまで坂本医師が手術で結果を出してきたのは、当院に赴任するまでの京都をはじめ、福井県、和歌山県と10数年の間に数々の病院で医師を務めたことからも想像できる。「今、都会の病院では専門的な医療体制が整っていますが、地方の病院では、スタッフが十分でない中で、何でもやっつけていかないと成り立っていきません。そんな状況で何でもやっつけてきたことが、今専門でしている脊椎手術にも必ず活かされるんですね。そういった経験をしてきたこともあって、若手の医師たちにも、オールラウンドに活躍できる力が持てるよう、指導しています。」

さを教わりました。医師たるものの謙虚に、学ぶことに貪欲に、患者さんには明朗で誠実に。医師に対しての言葉ともとれますよね。ここに通わなければ、医師になつていなかったというくらい、自分の人生に大きな影響を与えてくれました。」



▲「サントリー・1万人の第九」に大阪日赤合唱団の男性コーラス整形外科チームとして毎年参加。坂本医師のパートはテノール。



▶坂本医師の幼少期(小学3年生頃)。弟妹の天真爛漫、さがにじみ出ているお気に入りの1枚だそう。

昨年部長になり、坂本医師が目指しているのは、現在11名いる整形外科部をまとめていくこと。「職場という場所が、楽しいものであってほしいですね。『難しい手術だったけどやってよかった』、『勉強になった』と、スタッフがやりがいを持って取り組める仕事、満足できる環境になればいいなと思います。性格もさまざま、『ここで〇〇がやりたい』という医療の形もさまざまです。その個性を伸ばしていける職場をつくって、ここに来て仕事をしたいと思われる場所にしていききたいですね。」

看護師レポート・55



よい看護に大事なのは教育。学生の可能性を大切に育てていきたい。

近藤 隆弘

大阪赤十字看護専門学校学校の教員になって、6年になりました。現在、男性教員は私だけですが、常に周りが働きやすい環境をつくってあげると感じます。学生の個性を見て、どう育てていけばいいの

かと悩むこともあります。学生が持つ可能性を信じて、育てていけたらと思っています。当院に就職して、教員になるとは思っていませんでしたが、学校に入って、とても成長させてもらっていると、看護士になったのは、看護士である2人の姉の言葉がきっかけです。子どもが大好きで保育士を希望していたところ、「最近男性の看護士も増えているよ」と姉から聞き、看護士なら、子どもから大人まで幅広くかかわって仕事ができると思いました。

看護士から教員になってみると、看護士よりもやる事が多いと感じます。教育は、学生たちの成長をずっと見続けていくことが必要で、積み重ねていく仕事なんだと思います。学生の頃から「家庭を持つこと」が夢で、子どもは3人います。仕事で疲れたと思うときも、がんばってこれたのは、家族の存在が支えになっているからだと思います。休みの日は子どもたちと遊んで、家の手伝いもしますが、終わればゴロゴロしてしまいますね。



近藤さんの3人のお子さんの仲良しショット(上)と、もうひとつの家族と担当する2年生を看護士にするのが今の目標。



看護の仕事は、教育が一番だなと思います。学校では、学生の病棟実習を指導するのですが、患者さんとかかわり方、スタッフ同士の連携、病棟ごとのカラーの違いなどを見てみると、学ぶことが多いです。自分にやれる教育はまだまだあるので、学んだことを活かしていきたいですね。

TAKAHIRO KONDO

6月13日大阪府生まれ。大阪赤十字看護専門学校卒業後、当院に就職。中央手術室の看護に従事し、看護師6年目に教員研修に入る。病棟勤務を経て、大阪赤十字看護専門学校の教員に。現在は看護学校2年生を担当している。

食だより

運動とエネルギー

栄養管理課 管理栄養士 山口 翔平

新年を迎え、寒さも厳しくなってきました。お正月を過ぎると運動不足や体重増加などが気になるという方もいらっしゃると思います。ちょっとした生活習慣の乱れが、体に影響することもありますよね。そこで今回は、前回紹介した「運動の質」に続いて、「運動とエネルギー」について説明します。

身体活動を「メッツ」という言葉を使って運動の質を表しましたが、活動した時間によって「エクササイズ」に換算することができます。

★身体活動の強度(強さ)を表す単位 メッツ

(例) 1メッツ：座って安静にしている状態、3メッツ：通常歩行

★身体活動の量を表す単位「身体活動の強度(メッツ) × 実施時間(時)」 エクササイズ

(例) 通常歩行(3メッツ)を1時間行つて3メッツ×1時間=3エクササイズ

人は食事をする事でエネルギーを摂取しています。そしてエネルギーを消費することで、体重のバランスをとっています。エネルギーの消費量は、年齢、性別、筋肉量などによって異なりますが、簡易的に求めることができます。

★身長(m) × 身長(m) × 22 = 標準体重

標準体重 × 25 ~ 30 kcal デスクワークが多い、主婦、肥満の人

標準体重 × 30 ~ 35 kcal 立ち仕事が多い人

標準体重 × 35 kcal 力仕事が多い人

必要量を求めることによって、どの程度の食事を摂取すればよいかかわかります。最近では、それぞれのメニューにエネルギーが表示されている外食店もありますので、必要量を超えないように、食べ過ぎに対して注意しましょう。次に、運動による消費エネルギーがどの程度か見てみましょう。

★エクササイズ × 現体重 × 1.05 = 消費エネルギー

必要エネルギー量と消費エネルギー量が同じならば体重は増えていくことはありませんが、体の代謝や筋肉量などによって、消費エネルギー量は異なります。つまり、必ずしも同じエネルギー量であれば問題がないという訳ではありません。特に食べ過ぎた場合は、同じ程度の消費エネルギーの身体活動を行い、バランスを保つのではなく、食事からの摂取エネルギーを減らして調節することを心がけましょう。運動を継続的に行うための目標を設定して、それぞれに合った範囲で計画することが大切です。



お薬

ニ知識



薬剤部 薬剤師 雪本 江里子

ガラパゴスな日本の薬?!

国際救援活動で、海外の薬に触れる機会がありました。今回は、「海外の薬と日本の薬の違い」についてご紹介したいと思います。

まず、外見。日本で製造されている飲み薬のシート(錠剤やカプセルをプラスチックとアルミで挟んだシート状のもの)、皆さんはじつくりとご覧になったことはありませんか?きれいに分かりやすく薬の名前や規格が印字されています。また、ミシン目が入っていて、折り曲げるだけで簡単に切り離すことができます。さらに、ほとんどの薬には「刻印」というものがあり、数字やアルファベットが錠剤に刻まれています。シートから出された薬でも、刻印の情報を用いることで、何の薬かを検索することができます。最近では日本語の刻印もあり、小さな錠剤にたくさんの文字が刻印されていて、日本の技術に感心します。

一方、海外では、シートに薬品名の印字がない薬もあります。また、ミシン目が入っていないものもあり、切り離す際には必ずハサミが必要で、刻印がある薬は、ほんの一部です。

次に、品質について。日本では品質確保のため、厚生労働省が検査を行います。しかし、発展途上国では必ずしも詳細に検査が行われているとは限りません。ほとんどの薬が輸入品なので、輸入した国の保健省が、輸入元の製薬会社の品質管理までを検証するのは難しくもありません。大半の薬は問題ありませんが、錠剤の一部が欠けていたり、カプセルにカビが生えていたり、薬が充填されていなかったり、日本では絶対に見かけない薬を目にすることがあります。

製造過程で、一定の割合で不良品ができてしまう可能性はありますが、チェック機能が働いていれば、それらの薬が市場に出回ることはありません。

このように、日本では当たり前だと思っていたことが、海外ではそうでない場合が多々あり、それはとても興味深いことでもあります。日本独自に進化している点で言うと、ガラパゴス携帯ならぬ、ガラパゴス薬といっても過言ではないかもしれません。しかし、わかりやすく、扱いやすいのもとても助かっています。皆さんも薬のシートや刻印など、じつくりとご覧になってみてください。

〈ネパール地震救援にて〉
▼胃薬とすぐに分かるリアルなイラストが描かれたパッケージ。



▲1シートが何錠??



がんサポートチームからのお知らせ 人生の最期の迎え方

臨床検査科部長兼
消化器内科副部長 圓尾 隆典

vol.28

ご自分の最期がどうなるか想像したことがありますか？ 自分の最期など、もつとも考えたくないことのひとつですね。実感がないし、苦しい姿などイメージが浮かばないですよね。でも死は必ずやつて来ます。生きとし生けるもの、すべてに死は等しく訪れます。どういう死に方をするのかは誰にもわかりません。病死、事故死、突然死、脳死など、死の形はさまざまにあります。が、選択することはできません。

死の形態を選択することはできませんが、旅立ちの準備はいつでもできます。準備とは、いよいよそのときが近づいてきたとき、どのように対処したかを決めておくということです。がんは、その準備が自律的に行える特徴がある疾患と行うことができるでしょう。

2025年には年間死亡者数が現在より約40万人増えて約160万人になり、そのうち約半数は、がんによる死亡者であると予測されています。



す。2人に1人は、がんで亡くなるというのです。つまり、がんで亡くなることを想定することは、旅立つ準備をするうえで現実的な問題なのです。

そのためには、がんで亡くなること、一般的な経過を知る必要があります。死への経過を類型化すると、心臓病は突然死、脳梗塞は中長期の経過をたどるのに比べ、がんは比較的短期間(数カ月から数年)の経過で推移し、最期の1カ月で急激に身体機能が低下するという特徴があります。ぎりぎりまで動くことができますが、最期の1カ月で自力での移動・食事摂取・排泄が困難になるといえることです。病状の悪化に伴い、さまざまな身体苦痛症状は増悪しますが、専門的な緩和ケアにより対応が可能です。あくまで一般論ですが、このような経過を知っておくことは、旅立つ準備をするうえで大切なことだと思います。

最期を自宅という在宅看取りを希望する場合には、元気なうちから在宅担当医を見つけておき、良好な関係を構築しておくことをおすすめします。十分な緩和ケアを受けつつ、最期に備えるために事前の準備が重要なのです。

がん相談支援センター 当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126 syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

しっかり手洗い、感染予防!

感染管理認定看護師 西 好美

インフルエンザ・風邪・腸炎などが流行する季節になりました。感染予防対策で最も重要なのは、皆さんが日常生活の中で毎日行っている「手洗い」です。より効果的な「手洗い」であるためには、①いつ洗うか? ②どのように洗うか? ③どれだけ洗うか? がポイントとなります。

ご自身の「手洗い」をチェックしてみよう!



チェックポイント

次の項目に、チェック☑を入れてね。

1 必要なタイミングで手を洗っている。.....

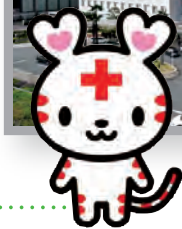
- 食事の前
- トイレ使用後
- 目に見えて手が汚れているとき

2 正しい方法で手を洗っている。.....



- 1 まず手指を流水でぬらす。
- 2 石けん液を適量手に取り出す。
- 3 手の平と手の平を擦り合わせよく泡立てる。
- 4 手の甲をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)。
- 5 指を組んで両手の指の間をもみ洗う。
- 6 親指をもう片方の手で包みもみ洗う(両手)。
- 7 指先をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)。
- 8 両手首まで洗いぬいにもみ洗う。
- 9 流水でよくすすいだ後、きれいなタオルで拭き、しっかり乾燥させる。

3 15秒以上かけて、ていねいに洗っている。.....



ハートラちゃん

あらためて「赤十字」って何でしょう？

今号の特集記事(2-3ページ)では、普段なかなかご覧いただけないロジスティクスセンターを紹介しました。赤十字の関連施設では、院内での診療活動にとどまらず、国内外でも医療活動を行います。日本赤十字社がさまざまな活動を行う根底には、どのような思いが込められているのでしょうか？ 日赤のマスコットキャラクター「ハートラちゃん」とその真相を探ります。



「赤十字基本7原則」にその真相があった！

「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は敵味方の区別なく救われなければならない」という「人道」が赤十字の活動の基本となっています。

その「人道」の原則を実現するために、他の6つの原則が存在し、「赤十字基本7原則」は成り立っています。



「赤十字」って採択された？

基本7原則は、オーストラリア・ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で、国際赤十字・赤新月運動の基本原則として、1965年に採択され、2015年で50年となりました。



1つ1つの原則を詳しく教えて！

人道

国際赤十字・赤新月運動は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれています。命と健康を守ること・苦痛を軽減し予防すること、人間の尊厳を確保すること、の3つの要素が含まれます。

公平

国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別もしない、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努めます。

中立

戦闘行為のとき、いずれの側にも加わることを控え、どんな場合にもいさゝかの紛争には参加しません。

独立

赤十字は独立しています。各国の赤十字社は、国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、常に赤十字の諸原則にしたがって行動できるように、その自主性を保たなければなりません。

奉仕

利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。

単一

いかなる国にもただ一つの赤十字社しかありません。また赤十字社は、すべての人に開かれており、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければなりません。

世界性

赤十字のネットワークは世界に広がっています。またすべての赤十字社は同等の権利と相互援助の義務を持ち、お互いの力を合わせて行動します。

「赤十字」や「日赤」という言葉をよくご存知の方は多いと思いますが、7原則を知っている方は少ないのでは？ このような赤十字の考えや思いを皆さまに理解していただくことが、わたしたちのさらなる活動に繋がります。日本赤十字社、当院の今後の活動にさらなるご理解とご協力をお願いします。

▲参考:日本赤十字社ホームページ / <http://www.jrc.or.jp/about/principle/> <http://www.jrc.or.jp/about/jrc/> (一部編集)(各原則の説明には赤新月も含まれます)

登録医紹介



医療法人 康仁会 鶴橋中央診療所



大原 尚子副院長

- 院長 / 吉田 憲治 ● 副院長 / 大原 尚子
- 診療科 / 内科・皮膚科・整形外科・リハビリテーション科
- 住 所 / 大阪市生野区鶴橋2-16-7
- 電 話 / 06-6731-2579 ● FAX 06-6715-2557
- 往 診 / 有 ● 訪問診療 / 有
- リハビリ / 医療(運動器リハビリ)、介護(通所リハビリ、訪問リハビリ)
- 休診日 / 木午後、土午後・日・祝
- 診療時間

外 来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (18:00~19:00)	○	○	○	○	○	

※午後診は予約が必要です。



▲運動療法の様子

地域の皆さまへ 糖尿病、高血圧、高脂血症などは症状なく動脈硬化が進行し、脳卒中、心筋梗塞、腎不全などの合併症が出てから、後悔される方が多く見受けられます。生活習慣病は充分なコントロールが必要です。40代からは、かかりつけ医を持ち、人生80年代を、自立しいきいきと暮らせるように、食習慣、運動習慣を見直しましょう。いつでも当院をご利用ください。

地域の皆さまへ

当院の特長 昭和43年開設。糖尿病をはじめとする生活習慣病対象の運動療法施設と健診センターを併設し、1次予防に力を入れてきた診療所です。自立して生きられる「健康寿命の延長」が「一番大事」と考えています。糖尿病専門医、血液専門医、感染症専門医、整形外科専門医、リハビリテーション科専門医、皮膚科専門医が在籍。大阪赤十字病院と医療連携しています。

医療法人 亥埜クリニック

- 院長 / 亥埜 恵一
- 診療科 / 内科・外科・消化器科・肛門科・リハビリテーション科・麻酔科
- 住 所 / 大阪市天王寺区上本町6-9-17 上六日光ビル2F
- 電 話 / 06-6773-8700 ● FAX / 06-6773-0770
- 休診日 / 火午前・土午後・日・祝
- 診療時間

外 来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	○		○	○	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	○	○	○	



▲亥埜院長(右)とスタッフ

地域の皆さまへ 地域に密着したホームドクターとして、適切な初期対応と治療が提供できる環境を整えております。乳がん検査や消化管検査も行っており、中核病院への窓口としても役割を果たしています。大阪赤十字病院とは、がん連携パスを利用した診察も行っております。体調に不安を感じた際は、お気軽にご相談ください。

当院の特長

大阪赤十字病院外科および救急科に在任後、「日常的な診療だけでなく、手術後の患者さんも安心して通院できる診療所」として開院し、約10年地域医療に貢献

Topics Box

トピックス & ニュース

Event

「キャロリング」を開催しました

12月22日(火)夕刻、当院の病棟がやさしい
ろうそくの明かりと聖歌の響きに包まれました。

毎年恒例の「キャロリング」では、今年もキャンドルを持った当院の看護学生と看護師の聖歌隊が、聖歌を歌いながら病棟を回りました。「ご入院中の患者さんにやすらぎとなぐさめを」との気持ちが入められた聖歌と美しい光景に、患者さんもやすらぎのひとときを過ごされたのではないのでしょうか。行事の最後には、正面玄関ホールに聖歌隊が美しいアーチを描いて列を作り、素晴らしい歌声が披露されました。



News

「海外たすけあい」のご報告

日本赤十字社はNHKと共催で「海外たすけあい」義援金を募集し、当院でも12月1日～25日まで院内各所へ募金箱を設置しました。皆さまから総額44,963円もの心温まるご寄付をいただきました。たくさんのご協力ありがとうございました。これらの義援金は紛争あるいは自然災害の被害者、飢餓や疾病に苦しむ人々への支援など、さまざまな事業にあてられます。

●編集後記

あけましておめでとうございます。
本年も大阪赤十字病院と本誌「びり〜ぶ」をよろしくお祈りします。



2015年もあっという間に過ぎ、2016年が訪れました。1年間、辛いことも大変なこともあったけれど、新しい年が訪れるとなんとなくうれしく、新たな希望に心が満ち溢れるような気持ちになりますね。皆さまそれぞれの2015年を過ごされたと思いますが、一年の始まりは、このような素晴らしい気持ちになるのではないのでしょうか。2016年も、皆さまにとって素敵な一年になりますように。(Y.N)

Event

音楽のプレゼント♪ 「クリスマスコンサート」を開催しました

12月12日(土)、2階総合ホールにてクリスマスコンサートを開催しました。第一部は杉岡清香先生(腎臓内科)、磯野友美先生、林哲哉先生(各臨床研修医)、ゲスト1名が出演。当院のコンサートでたびたび演奏されている人気曲「Let it go」は、今回杉岡先生による力強い英語バージョンの歌が、「動物の謝肉祭」でもピアノの美しい音色と、鮮やかな指さばさが披露されました。



第二部では健診業務課の大岩みなみ主事が所属する「New Sail Ensemble」によって、クリスマスソングなどが披露されました。総勢20名による演奏と歌唱に、会場は楽しく和やかな雰囲気になりました。当日は200名近く来場され、「思いがけない美しい演奏に感動しました」などのお言葉をいただきました。

当院では1年に4回(3・6・9・12月)、院内コンサートを開催する予定としています。開催についてはポスターなどで告知しますので、ぜひご来場ください。

Report 海外派遣報告：国際医療救援部 係長 喜田たろう

東ティモール赤十字社組織強化事業

2013年の10月から2年間、国際赤十字の組織強化要員として、東ティモール民主共和国に派遣され、同国の赤十字社である東ティモール赤十字社「Cruz Vermelha de Timor-Leste(CVTL)」への支援を行いました。

東ティモール赤十字社は、インドネシアによる武力侵攻・併合からの独立の回復に伴って2000年に設立され、2005年に国際赤十字への加盟を果たし、過去の紛争状態を経験した職員・ボランティアたちの献身的な努力により、目覚ましい発展をとげました。

派遣中は、国際赤十字や支援国赤十字社が提供するさまざまな技術・財政支援を調整し、現地職員とともに多様な組織強化分野で事業実施、



▲政府の水道事業の手が届かない地方の村落到CVTLが設置した給水システム

状況の改善に取り組みました。

東ティモール赤十字社の事業の多くは、日赤を始めとする国際赤十字からの支援に大きく支えられており、

彼らの長期戦略や事業方針を尊重した長期的な視野での国際支援が引き続き必要とされています。東ティモール赤十字社が組織強化の目標である強力な赤十字社となり、さまざまな脆弱性の改善に独力で取り組める日が、一日も早く来ることを期待したいと思います。



▲交通安全キャンペーンでの救急法の実演の様子



▲青少年赤十字ボランティア

人事異動情報 (平成27年10月1日～平成28年1月1日)

- 採用** (平成27年10月1日付) ●眼科/医師・松山 浩子 ●産婦人科/医師・寒河江 悠介 ●病理診断科/専攻医・柴山 隆宏 (平成27年11月1日付) ●耳鼻咽喉科/専攻医・松永 桃子
- 退職** (平成27年10月31日付) ●耳鼻咽喉科/医師・山田 光一郎 ●眼科/非常勤嘱託医師・中川 聡子

病院のご案内

- 受付時間(月～金) (診療開始は午前8:45からです)
初診/月曜日～金曜日 8:30～11:30 再診/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休診日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください)
平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00
小児病棟(平日・休診日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。
また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

当院は 敷地内全面禁煙です

当院は平成22年12月1日より、敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。



大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 平成28年1月発行

■お問い合わせ

TEL:06-6774-5111 (代表)

大阪赤十字病院 <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>

赤十字全般 <http://www.jrc.or.jp/>

